

みずほCustomer Desk Report 2019/10/29号 (As of 2019/10/28)

市場営業部 為替営業第二チーム

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	公示仲値 GBP/USD	108.79 AUD/USD
TKY 9:00AM	108.74	1.1084	120.51	1.2825	0.6822
SYD-NY High	109.04	1.1107	120.97	1.2876	0.6845
SYD-NY Low	108.66	1.1076	120.46	1.2812	0.6811
NY 5:00 PM	108.95	1.1099	120.96	1.2860	0.6839
NY DOW	27,090.72	132.66	日本2年債	-0.22	2.00bp
NASDAQ	8,325.99	82.87	日本10年債	-0.14	1.00bp
S&P	3,039.42	16.87	米国2年債	1.6465	2.49bp
日経平均	22,867.27	67.46	米国5年債	1.6643	3.94bp
TOPIX	1,648.43	▲ 0.01	米国10年債	1.8446	4.59bp
シカゴ日経先物	22,975.00	140	独10年債	-0.3345	3.15bp
ロンドンFT	7,331.28	6.81	英10年債	0.7180	3.80bp
DAX	12,941.71	47.20	豪10年債	1.0990	4.55bp
ハンセン指数	26,891.26	223.87	USDJPY 1M Vol	5.23	0.13%
上海総合	2,980.05	25.12	USDJPY 3M Vol	5.65	0.03%
NY金	1,495.80	▲ 9.50	USDJPY 6M Vol	6.13	0.00%
WTI	55.81	▲ 0.85	USDJPY 1M 25RR	-0.83	Yen Call Over
CRB指数	178.28	▲ 0.09	EURJPY 3M Vol	6.13	▲ 0.03%
ドルインデックス	97.76	▲ 0.07	EURJPY 6M Vol	6.62	▲ 0.03%

【昨日の指標等】

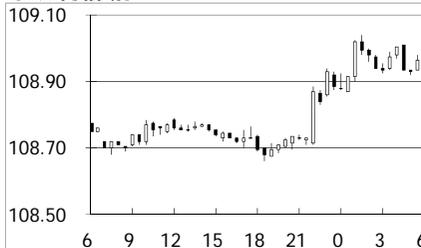
Date	Time	Event	結果	予想
10月28日	21:30	米 シカゴ連銀全米活動指数	9月 -0.45	0.0
	21:30	米 卸売在庫(前月比)	9月 -0.3%	0.2%
	23:30	米 ダラス連銀製造業活動	10月 -5.1	1.0

【本日の予定】

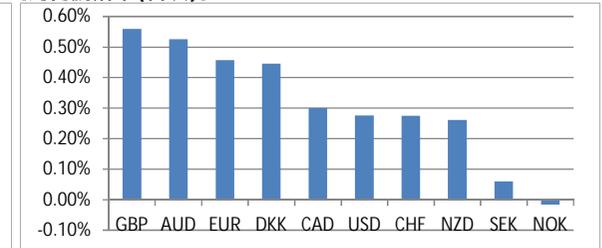
Date	Time	Event	予想	前回
10月29日	23:00	米 コンファレンスボード消費者信頼感	10月 128.0	125.1
	23:00	米 中古住宅販売契約(前月比)	9月 0.8%	1.60%

東京	東京時間のドル円は108.74レベルでオープン。日米中銀会合を控えて2日連続で狭いレンジ推移。108.75レベルで海外時間に渡った。
ロンドン	ロンドン市場のドル円は、108.75レベルでオープン。ライトハイグ-USTR代表と中国の劉鶴副首相が電話で会談し、貿易協議は「最終決着に近づいている」と示唆し、楽観ムードが広がるが、ドル円の動きは非常に限定的。108.73レベルでNYに渡った。ポンドは、1.2822レベルでオープン。EUが1月末までの英国の離脱延期期間で合意を受けてポンド買いがみられたが、英総選挙をめぐる不透明感を懸念して上値も限定的。結局、1.2832レベルでNYに渡った。(ロンドン・トルジャー 00531 444 179 山本)
ニューヨーク	今週後半にFOMC、日銀金融政策決定会合、米雇用統計等のイベントを控え、様子見ムードが広まる中、海外市場のドル円は108.70近辺の狭いレンジで推移し、108.73レベルでNYオープン。朝方は、トランプ米大統領の「中国との合意署名が予定より早く進んでいる」との発言が伝わり、米中貿易交渉の進展期待にリスク選好が広がり、108.94まで上昇。その後、米金利が上昇幅を拡大し、S&P500種株価指数が史上最高値を更新する動きにサポートされ、8月1日以来となる109円台を回復し、109.04をつける。しかし、200日移動平均線(109.06)がレジスタンスとして意識される中、この水準での売りに圧迫され、108.92まで反落。午後は109円手前の水準で底堅く推移。米金利の上昇や米株の買いが一巡する中、手掛かり材料に乏しく、結局、108.95レベルでクローズ。一方、海外市場のユーロドルは、EUが1月末までの英離脱期限延期で合意したことが伝わり、10月末の合意なきブレグジットが回避されたとの見方に上昇したポンドに連れ高となり、1.1111レベルを回復。一時1.1107まで上昇し、1.1097レベルでNYオープン。朝方は、先述のトランプ大統領発言を受けてドル買いが進み、1.1084まで下落。しかし、リスク選好ムードの円売りに上昇するユーロ円にサポートされ、1.1103まで反発。午後はブレグジットを巡り、「英議会、ジョンソン英首相の早期選挙を求める動議を否決」とのヘッドラインが流れたが、ユーロドルの反応は限定的だった。終盤にかけては、1.1100近辺で小動きとなり、1.1099レベルでクローズ。

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【マーケットインプレッション】 東門の109円を眼前に

現在、ドル円のレジスタンスとして機能している109円の水準は、5月末に米中間の緊張が高まって以降、明確な上抜けを実現できていない。“動かざるに至りて大高下の端たるべし(商家秘録)”江戸時代の相場を踏まえて出来た格言であるが、紐解くと相場が小動きとなり持合色が強まった後は大相場が待ち受けている、ということを示したものである。現在の様々なマーケットにおいても市場参加者が痛感しているところであり、そして市場参加者は、持合から相場が動くタイミングが“いつになるのか”について、思いを巡らしていることであろう。昨日109円台を一時的に付けているが、明確な上抜けが実現できるかに注目が集まる。

改めてであるが、最近のドル円相場を振り返ると、足元はこう着感の強い相場付きが続いている。19年は値幅8.3円(年間最低値幅は19年の9.99円)と過去最低値幅を更新する勢い。そして、一日の値幅をみると今月は59銭、先週に至っては33銭と、ブレグジットに揺れるGBPやEURなどは対照的に動意の乏しい展開が続いている。こう着感が益々強まっている中で、今週はFOMCやBOJ、月初の米経済指標の発表とイベントが続くが、ボラティリティが低位推移するオプション市場を期間ごとで見ると、短期のボラティリティにイベントプレミアムが乗っているようにも見えない。市場の関心を集めているトピックスは、引き続きブレグジットと米中通商問題であることに疑いの余地はないだろう。当該トピックスについて、足元ブレグジットは合意なき離脱のリスクが後退。そして米中通商問題については第一段階の合意に至り、その後、交渉の進展をうかがわせる報道が確認されている状況。当然ながら、リスクセンチメントは改善しているが、ドル円は上方向に攻めきれない状況が続く。個人的には悪いヘッドラインが出てこないが注目トピックスについて明確な進展も見られない中で、ぬるま湯相場がもうしばらく続くのではないかと考えている。(上野)

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償のみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。

担当: 上野・玉井 TEL:03-3242-7070 FAX:03-3211-5825 LDN 00531-444-179 NY 00531-113-682

	竹内	加藤	関	光石	岡本	上野	尾身	原田	玉井	ブル	ベア
Today	ベア	ベア	ベア	ブル	ベア	ブル	ブル	ブル	ブル	5	4
Week	ベア	ベア	ベア	ブル	ブル	ブル	ブル	ブル	ベア	5	4